

激動の時代の芸術

1968年

1968年11月19日(水) - 11月22日(土)

11月19日(水) 11月20日(木) 11月21日(金) 11月22日(土)

11月19日(水) - 11月22日(土)

●さや堂ホール展示プロジェクト

地球の告白

2018年11月1日[木] - 11日[日] (11月5日[月] 休館)
 10:00 - 18:00 (金・土曜日は20:00まで)
 1階さや堂ホールにて | 観覧料無料

表現者／研究者として、芸術から学術まで領域横断的な活動を行っているハナムラチカヒロの個展を開催。本年から50年前にあたる1968年に、アポロ8号によって初めて人類は外から地球を風景として眺めた。普段は見えない地球にまなざしを向け、その上で共に生きる私たちの心を見つめ直すような展示を行う。

●次回展予告

「生誕135年 石井林馨展 — 千葉に出づる風雲児」
 2018年11月23日[金・祝] - 2019年1月14日[日]

●交通案内

- ・JR千葉駅東口より
 -徒歩約15分
- バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分
- バスのりば16番C-busにて「中央区役所・千葉市美術館前」下車
 -千葉都市モノレール 県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分
- ・京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- ・東京方面から車では
 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
 *千葉市中央区役所と同じ建物です。
 *地下に、区役所と共有の機械式駐車場がありますが、混雑時にはご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関のご来館をお願いします。



千葉市美術館
 Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
 TEL 043-221-2311 | http://www.ccma-net.jp

関連企画

講演会とパフォーマンス

し・C・4 — ガリバー1968を語る

講師：シュウゾウ・アツチ・ガリバー(美術家)

パフォーマー：シュウゾウ・アツチ・ガリバー、荒木悠、Lily Shu
 9月29日[土] 14:00より(13:30開場予定) | 11階講堂にて | 先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) | 聴講無料

1968年ころ、エクスパンデッド・シネマ、パフォーマンスなど、分野を越えて活躍したシュウゾウ・アツチ・ガリバー。当時の活動について紹介するとともに、1968年初演のパフォーマンス(し・C・4)を上演。

講演会

1968年前衛の終焉 — 美共闘 廃墟からの出発

講師：堀浩哉(美術家)

10月6日[土] 14:00より(13:30開場予定) | 11階講堂にて | 先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) | 聴講無料

美術大学における全共闘運動として、多摩美術大学の学生によって結成された美術家共闘会議(美共闘)。美共闘議長だった堀浩哉が、当時の運動の意味と60年代末から展開した制作活動について語る。

講演会

サイケのHAMANO、サイケとその後の世界を語る

講師：浜野安宏(ライフスタイルプロデューサー)

10月20日[土] 14:00より(13:30開場予定) | 11階講堂にて | 先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) | 聴講無料

1968年当時、「MUGEN」、「アストロメカニカル」などのサイケデリック系ディスコや、サイケデリック・ショップ「ジ・アップル」をプロデュースし、草月会館ホールで横尾忠則らと「サイコデリシャス」というショーを行った浜野安宏。日本のサイケの第一人者が半世紀前を振り返る。

●観覧料

一般1200円(960円) / 大学生700円(560円) / 小・中学生、高校生無料

*1968年割引：1968年生まれの方は観覧料500円(生年月日を確認できる証明書をご提示ください) *障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 *O内は前売り、団体20名以上、市内在住65歳以上の方の料金 *前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(9月9日まで)、ローソンチケット(Lコード：35075)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて9月18日まで販売(9月19日以降は当日券販売) *10月18日[木]は「市民の日」につき観覧無料

●表紙画像

赤瀬川原平(お座敷)1970年 個人蔵より2点 | 《漫画主義No.6ポスター》1968年 個人蔵 白石コンテンポラリーアート協力 | 娑婆留留社《黙送撤画通信(三)》1970年 千葉市美術館蔵 ©1968,1970 Akasegawa Genpei | 羽永光利(新宿西口フォークゲリラ)1969年 | 《封鎖された多摩美術大学》1969年 | 《アンダーグラウンド蠟座入り》1967年 | 《ゼロ次元 全裸防毒面歩行儀式》1967年 | 《ガリバー「フライングフォーカス」》1969年 | 《「狂気見本市」より》1968年 | 《FLOUR POWER,新宿》1968年 | 《沖繩デー、新橋駅付近》1969年 | 《反戦と解放展の「天下泰平 旭日星条旗」》1969年 | 《沖繩デー、線路上での衝突》1969年 以上羽永太郎蔵

映画上映会

略称 連続射殺魔

監督：足立正生(1969年、86分)

19歳の連続射殺犯永山則夫が見たであろう1968年ころの日本の風景を追った映画。

10月27日[土] 14:00より(13:30開場予定) | 11階講堂にて | 先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) | 参加無料

映画上映会

新宿泥棒日記

監督：大島渚(1969年、94分)

1968年の新宿を舞台に、主演の横尾忠則、唐十郎、俳優、学者、会社社長らが実名で登場するドキュメンタリータッチの劇映画。

11月4日[日] 14:00より(13:30開場予定) | 11階講堂にて | 先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) | 参加無料

市民美術講座

環境芸術とミニマル・アート

講師：水沼啓和(当館主任学芸員)

10月13日[土] 14:00より(13:30開場予定) | 11階講堂にて | 先着150名 | 聴講無料

アンダーグラウンドとサイケデリック

講師：水沼啓和(当館主任学芸員)

11月10日[土] 14:00より(13:30開場予定) | 11階講堂にて | 先着150名 | 聴講無料

ギャラリートーク

担当学芸員による：

9月19日[水] 14:00より

ボランティアスタッフによる：

会期中の毎週水曜日14:00より(9月19日をのぞく)